

ILSI Japan 活動報告<83>

【部会・分科会活動報告】 2020年7,8月度

食 品 安 全 研 究 会	食品微生物研究部会	<p>(1) 芽胞菌研究分科会 進捗なし オンラインでの開催を模索中</p> <p>(2) MALDI-TOF MS 研究分科会 進捗なし NITE とオンラインでの開催可能性について検討中</p> <p>(3) チルド勉強会 取組み中のボツリヌス菌制御に関する活動についてリーダー間で打ち合わせを実施し、試験素案について協議した(7/27、オンライン)。今後、勉強会メンバーからの意見を確認予定。</p> <p>(4) 国際整合性のある食品微生物リスク管理研究分科会 進捗なし</p>
	食品リスク研究部会	<p>2020年度第2回目の部会を開催(2020年7月10日 ILSI 会議室+Web 会議)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規活動「"A Natural Mistake: Why natural, organic, and botanical products are not as safe as you think" (Dr. Jim MacGregor 著)」の情報発信として、書籍の翻訳を検討。林真先生、森田健先生の修正をもとに、部会メンバーで分担して、推敲、追加説明の必要な個所の抽出を行うこととした。引き続き、林真先生、森田健先生の指導の下、年内を目処に推敲を繰り返し、翻訳を完成させる。 ・「食品リスク評価上の課題解決・高齢者が摂取する食品の安全性評価の考え方、方法論の整備、発信」の報告書について構成を一部変更、2021年6月発行予定のイルシー誌への投稿を目指し、年内に報告書案を完成することとした。 ・参加企業の食品リスク評価のレベルアップのための勉強会として、国立医薬品食品衛生研究所安全情報部長・畝山智香子先生をお招きし、「ほんとうの食の安全を考える」~食品中化学物質のリスクについて~と題して講演会を開催、29名聴講(ILSI 会議室にて講演、同時に Web 配信)。イルシー誌 144号に掲載予定。 ・次回部会は10月7日に開催予定。
	香料研究部会	特に進捗なし
A A T プ ロ ジ エ ク	概要	<p>国際WSとシンポの同時開催および2つの研究テーマ推進を3本柱とするWG活動を、国立医薬品食品衛生研究所、AI-SHIPS、NITE等の多数のアカデミアや学会、およびアジアやEUのILSI支部と連携しながら進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI-SHIPS コンソーシアムへ参加し、AI-SHIPS 毒性予測システムの活用に関してILSIの要望を提案した。 ・ケースレポート作成を推進する新WGの概要案について議論した。次回全体会議で説明し、メンバー募集後に活動開始予定。

ト	<p>2020 国際ワークショップ (WS) (ILSI Europe 協働)</p>	<p>【概要】 食品領域における動物実験代替について、現状の把握と進むべき方向性を議論することを目的として国際 WS を限定公開 (AAT 関連メンバー等) にて、さらに国際シンポ (公開) を同会場で開催する。なお、延期期間を 1 年とし、次の開催時期は 2021/10/21~22 を目途として開催準備等を開始した。</p> <p>【進捗】 国際 WS 及び国際シンポの延期時期を 2021/10/21~22 とすることが了承されたのを受け、同時期に開催可能な会場並びに宿泊施設を都内中心に調査した。会場規模、料金、場所等を比較検討し、内覧希望会場を数か所選考しホテルも含め内覧した。また、論文投稿については投稿先編集部に連絡し、投稿自体は受けられるとの回答を得た。なお、編集部より助言された論文の構成・文字数等についても検討をする。</p>
	腸管吸収 WG	<p>【概要】 動物を用いないで機能性食品の摂取量を推定するためには動態の予測法開発が必須である。昭和薬科大学 山崎研究室の動態予測 (計算) モデルの適用性を検討する。</p> <p>【進捗】 食品成分のヒト吸収性および血中動態予測フロー (案) に関して、実運用に向けた課題を議論・整理した。</p>
	データベース WG	<p>【概要】 食品成分の既存毒性情報 (文献等) を収集、活用し、反復投与毒性を予測する手法、システムを開発中。独自に毒性情報を収集することも検討する</p> <p>【進捗】 データを収集する食品成分について、先行登録物質として約 40 種を選定し、食品安全委員会プロジェクト及び AI-SHIPS と協議して HESS フォーマットへの登録方法を決定し、実作業を開始した。引き続き 50 種選定に向け成分調査を継続中。10 月を目途に完了予定。</p>
	定期会議	次回全体会議および講演会を 9/8 (火) @WEB にて開催予定。
バイオテクノロジー研究会		<p>2020 年 8 月 31 日に第 4 回目会議を開催 (リモート会議)</p> <p>(1) ERA プロジェクト調査報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 52 号の勉強会: 10 報の論文をレビューし、意見交換を行った。 <p>(2) ILSI ERA 勉強会 (隔離ほ場試験データトランスポータビリティについて) 開催日: 2020 年 10 月 8 日 COVID19 対応観点からリモート会議体とする</p> <p>予定演題:</p> <p>ILSI Japan におけるこれまでのデータトランスポータビリティの取組み (ILSI Japan 中井 秀一)</p> <p>農林水産省におけるこれまでのデータトランスポータビリティの取組み (農林水産省消費・安全局 審査官 高島 賢氏)</p> <p>遺伝子組換えダイズの国内隔離ほ場試験に関する論文 (Matsushita <i>et al.</i>, 2020) の紹介 (ILSI Japan 松下 茜)</p> <p>(3) ERA 報告書 関係省庁へのご説明に関して これまで直接訪問し説明を実施してきた ERA 報告書配布に関し、リモート会議での実施方法について共有。</p> <p>(4) 会計報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算進捗を確認した。 <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度活動予算申請事業 (ゲノム編集技術応用発酵生産され

		<p>た食品添加物等の安全性審査に関するワークショップ・2020年11月、リモート開催予定)について 現在の準備状況報告、意見交換。</p> <p>・2021年度 ERA 調査報告書事業 予算減額検討について 2021年度以降の活動の在り方について幹事会で検討を開始する。</p>
栄養健康研究会	栄養研究部会	<p>2020年度 第1回目の栄養研究部会をWEB (Zoom) で開催 (7月13日、15:30~17:00) し、今後について意見交換した。その結果、以下の方針で合意した。</p> <p>① 栄養研究部会の活動を再開させる。当面の間、1ヶ月~1ヶ月半毎に会議 (WEB 会議 : Zoom) を開催し、日頃の活動などを具体化させる。</p> <p>② 新たな研究テーマ (研究テーマの領域) は「栄養・運動と免疫機能」とする。</p> <p>③ 日頃の活動としては、専門の先生を呼んで定期的に勉強会 (講演会) を開く。具体化に向け、まずは、部員から「栄養・運動と免疫機能」領域のトピックス (題目・話題) と講師の先生について、ご提案いただく (アンケート調査実施)。</p> <p>④ 4年毎に「ライフサイエンスシンポジウム」と「栄養とエイジング」国際会議を開催する (次回開催年はライフサイエンスシンポジウム : 2022年、「栄養とエイジング」国際会議 : 2023年)。</p> <p>日頃の活動でしっかりした内容を蓄積し、イベントでの発表、あるいは論文など外部への積極的な情報発信を行う。</p>
	GRプロジェクト	特に進捗なし
	茶類研究部会・茶情報分科会	特に進捗なし
C H P	Project PAN (Physical Activity and Nutrition) “身体活動と栄養”プロジェクト	<p>◇ テイクテン (TAKE10!®) ~元気で長生きのための運動・栄養プログラム~</p> <p>・墨田区の介護予防事業「すみだテイクテン教室」(16年目、9月開始)の各種準備を行った。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大下において、外出を控えている墨田区民への対応として「すみだテイクテン教室」の内容を簡単に説明するVTRを製作。YouTubeに掲載予定。</p>
	Project DIET (Dietary Improvement and Education with TAKE 10!®) “途上国栄養改善と栄養教育”プロジェクト	<p>◇ 栄養改善事業推進プラットフォーム (NJPPP) 委託事業</p> <p>・ミャンマープロジェクト : 2021年度に介入試験 (栄養バランスの良い工場食提供および栄養教育) 実施のための準備としての2020年度の活動 (倫理審査の申請等) がNJPPPの作業部会で承認された (8月31日)。</p> <p>・カンボジアでのプロジェクト : 昨年度パイロット試験を実施した日系工場での打ち合わせを実施した (8月11日)。</p>
	CHP全体	特になし
国際協力委員会		<p>オンライン委員会開催 : 2020年8月28日 (金) 15:00~16:00</p> <p>【議題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中村事務局長より事務連絡 2. ILSI Korea 主催オンライン Meeting について 3. 今年度日添協秋季講習会延期と来年度の講演について

	4. 国際協力委員会委員長の後任について 5. その他 (今後の活動に関して)																									
情報委員会	<p>●栄養学レビュー スケジュール (全体) (ヨ: 予定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>編集会議</th> <th>翻訳締</th> <th>監修締</th> <th>発行</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ Vol.109 28-4</td> <td>2/17</td> <td>4/末</td> <td>5/末</td> <td>8/10 スミ</td> </tr> <tr> <td>・ Vol.110 29-1</td> <td>5/11</td> <td>7/末</td> <td>8/末</td> <td>11/10 ヨ</td> </tr> <tr> <td>・ Vol.111 29-2</td> <td>8/11</td> <td>10/末ヨ</td> <td>11/末ヨ</td> <td>2/10 ヨ</td> </tr> <tr> <td>・ Vol.112 29-3</td> <td>11/13 ヨ</td> <td>1/末ヨ</td> <td>2/末ヨ</td> <td>5/10 ヨ</td> </tr> </tbody> </table> <p>●Vol.109 28-4<2020年夏> 対象誌: Nutrition Reviews 77(11)-78(1) 編集会議: 2/17 4報採択 (OUP承認 4/24) ⇒5月末までに監修原稿受領 ⇒6/17初稿⇒6/25再校⇒翻訳者 feed back⇒7/6再校時打合せ ⇒7/8 OUP承認取得⇒7/11色校正了⇒8/10発行</p> <p>●Vol.110 29-1<2020年秋> 対象誌: Nutrition Reviews 78(2)-78(4) 編集会議: 5/11 5報採択 (OUP承認 7/22) ⇒8月末現在5報中3報監修原稿受領済み ⇒3報加筆原稿提出済み</p> <p>●Vol.111 29-2<2021年冬> 対象誌: Nutrition Reviews 78(5)-78(7) 編集会議: 8/11 5報採択 (8月末現在 OUP未承認) ⇒5報とも翻訳者・監修者確定済み (翻訳依頼済み)</p> <p>●次回編集会議 11/13 (金) 16時～ (WEB) 議題: 通巻112号 (2021年5月発刊予定) 掲載論文選定 対象誌: Nutrition Reviews 78(8)-78(10)</p>		編集会議	翻訳締	監修締	発行	・ Vol.109 28-4	2/17	4/末	5/末	8/10 スミ	・ Vol.110 29-1	5/11	7/末	8/末	11/10 ヨ	・ Vol.111 29-2	8/11	10/末ヨ	11/末ヨ	2/10 ヨ	・ Vol.112 29-3	11/13 ヨ	1/末ヨ	2/末ヨ	5/10 ヨ
	編集会議	翻訳締	監修締	発行																						
・ Vol.109 28-4	2/17	4/末	5/末	8/10 スミ																						
・ Vol.110 29-1	5/11	7/末	8/末	11/10 ヨ																						
・ Vol.111 29-2	8/11	10/末ヨ	11/末ヨ	2/10 ヨ																						
・ Vol.112 29-3	11/13 ヨ	1/末ヨ	2/末ヨ	5/10 ヨ																						
編集部会	・「イルシー」143号、144号、145号編集																									

【事務局からのお知らせ】

理事会	<p>第4回理事会が令和2年7月14日(火)に開催された。</p> <p><決議事項> 新研究講座実施の承認 事務局より資料に基づき説明し、質疑応答のあと異議なく承認された。</p> <p><承認事項> 1) Nutrition Reviews Supplement 出版について 昨年開催の「栄養とエイジング」国際会議の内容を Nutrition Reviews より出版する方法について事務局よりいくつかのオプションを提案し、Nutrition Reviews Supplement として一般の方が無料で閲覧可能な方法で出版し、製本はせずに関係各方面にはその閲覧先を丁寧に伝えることの案が承認された。</p> <p>2) 理事長承認済み案件 ア.「食品開発展 2020」への後援 理事長承認事項として事務局より説明した。</p>
-----	---

	<p>イ. 寄付 10 万円「コロナ禍による小中学校休校時における家庭内の食事の変化に関する調査」 理事長承認事項として事務局より説明した。</p> <p><報告・討議事項></p> <p>1) AAT プロジェクトワークショップ延期について 事務局より新型コロナウイルス感染症下における開催可能性を検討した結果、来年に延期したと説明した。</p> <p>2) ILSI Japan 収支見込（新型コロナウイルス感染症による影響） 事務局より今期の収支見込について、感染症の影響を踏まえ説明した。</p> <p>3) 本部動向 事務局より「来年の本部総会動向」、「Webinar の紹介」について説明した。</p>
事務局	特になし。